2023 年 10 月 12 日

FIE 用具規程（m)の変更に伴う大会への適用について(追記)

公益社団法人　日本フェンシング協会
ル　ー　ル　・　審　判　委　員　会

2023 年全日本選手権大会（団体戦）以降、（公社）日本フェンシング協会主催大会及びシニアＦＪＥポイント大会においてはＦＩＥ用具規程に則り、下記規程を適用する。
※一部大会（ジュニア・カデ・ミニム等）については当該大会の要項に準ずる。

＜シニア大会について＞

用具規程【最新の FIE ルールを適用】

●FJE ポイント対象大会
●全日本選手権大会（個人戦・団体戦）
●国民スポーツ大会(成年の部)

＜高校生以下の選手が上記の大会に出場する場合＞

用具規定【2023 年 10 月 12 日から適用】

※ブレードを除く

・ユニフォーム（上下）	350N 以上または FIE 公認マーク付き(800N)
・半袖プロテクター	FIE 公認マーク付き(800N)
・マスク	FIE 公認マーク付き(1600N)
・サーブルクローブ	FIE 公認マーク付き(800N)
・ボディコード	FIE ルール
・エペソケット	FIE ルール

＜ミニムについて＞

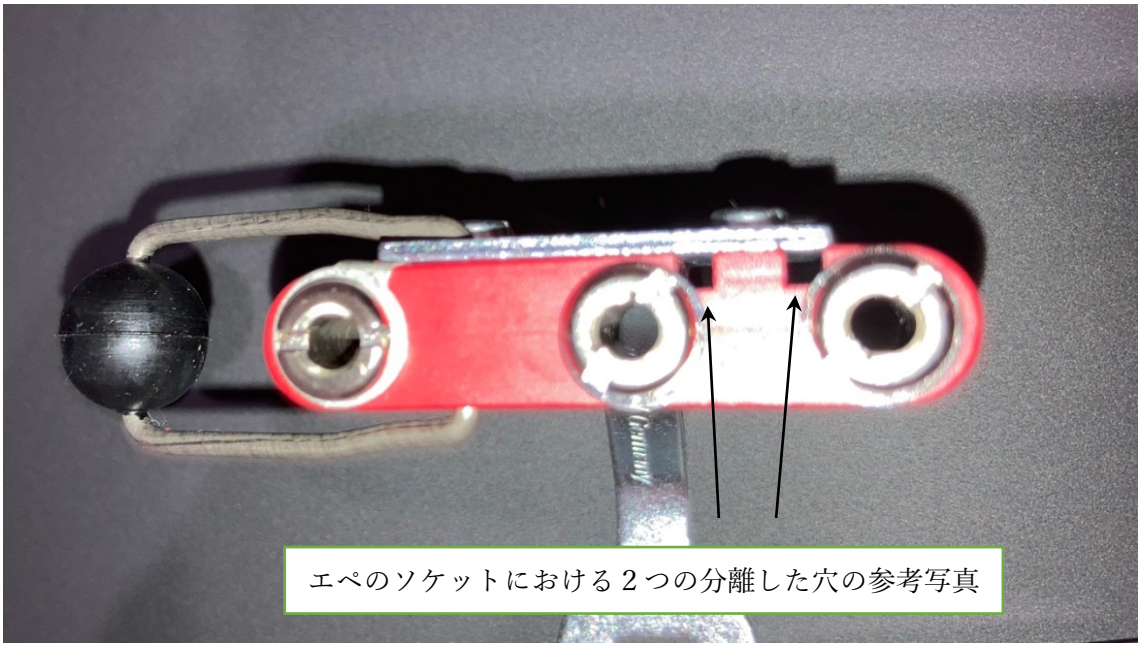
用具規定【当該大会の要項に準ずる】

【別添１】

１、全ての種目において、マラジン剣（マル・エージング鋼ブレード）の使用を義務付ける。(FIE 用具規定 m. 2 参照)

２、エペのガード内側のソケットにはブロックの中で２つの分離された穴がなければならない。従って、２本のワイヤーがブロックの中を別々に通り、端末に繋がるようになる。(FIE 用具規定 m. 18.3 参照)

３、ボディーワイヤーには両端に接続プラグがついているが、この接続プラグは透明の素材で作られてなければならない。武器に装備された安全確保装置の欠如の場合は、安全確保装置がボディワイヤーのプラグに装備されてなければならない。(FIE 用具規定 m. 29.1.b 、m. 31.2 参照)



エペのソケットにおける２つの分離した穴の参考写真

【別添２】

〈サーブルのブレードについて〉

2023 年 10 月 12 日現在

使用可能なブレードは以下の通りです（参考）

●東京フェンシング商会
品番・品名：３０５７　　マラジン TF

●東京フェンサーズ
品番・品名：３１６　レオンポール APEX　FIE サーブルブレード

●KFE
品番・品名：S0705U　ウルマン／PBT　FIE サーブルブレード
品番・品名：SB0017　フランチーニ　FIE サーブルブレード

※上記以外のブレードの場合、「FIE」、「M」または「Maraging」のいずれかの刻印があること。
※エペ及びフルーレのブレードは、「FIE」の刻印があるブレードを使用すること。